

だんだん通信 7月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。



謙虚

これはガクアジサイの花言葉です。山奥などのひっそりとした所に自生しているのが理由のひとつだといわれています。団地の中をよく見てみると、生えている植物は場所によって違います。鳥や風が運んできたものや、人が植えたものなど様々です。それでも、たくましく成長している様子を見るとよい環境に巡り合えたのだな、と思います。視点を変えてみると、名前の知らない草木にも愛着が湧くかもしれませんね。

男山 やってみよう会議

会議の途中にやってみる

住みたい、住み続けたい男山地域であるために、幅広い世代が集い、まちづくりについて話し合い、具体的な取組みを重ねる「男山やってみよう会議」第18回目となる6月のやってみよう会議では、各チームがテーブルの上で「やってみる」を実践しました！



今年度の「防災チーム」は、夏休みに子どもたちを対象とした防災体験実験を企画しています。「地盤の液状化現象」を体験するための模型を会議中に制作し、他チームメンバーの前で模擬実験を行っていました。地元大学生が中心となって活動する「情報発信チーム(8gram)」は、会議中にスマートフォンを使いながら、情報発信の企画や仕組みづくりに取り組みました。



日程 7/16*, 8/20, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 1/21, 2/18, 3/18
時間 13:00~15:00 場所 男山公民館 3階大会議室 ※7月は生涯学習センターで開催
●見学・参加を希望される方は、だんだんテラス事務局【辻村】までご連絡ください。
●会議の様子や内容は、だんだんテラスのFacebookページにてご覧頂けます。

Sさん (UR都市機構職員)

第24回 **だんだんテラスと私**

だんだんテラスとの出会いは、仕事が終わった後、初めて男山団地を訪れた時、テラスでは地域の子供たちと学生が楽しそうにおしゃべり、ご老人の方はその前の広場に置かれたソファに腰かけて日向ぼっこ、というとてもほっこりとした風景は印象的でした。でも覚えていました。実は私も大学時代、建築やコミュニケーションデザインの研究をしていたので、テラスのような集いの場はいつか見てきてはいたのですが、こんなに自然体で色々な世代の住民さんが出入りしていく光景は、見たことがなかったので正直驚きました。テラスに集まった人たちがラジオ体操や日常の一部を過ごしてたら、思わぬ出会いが生まれたり、とにかくここでは面白いことがたくさん起こっていて、刺激を受けることも多いです。テラスに関わりはじめて約1年、最近「あ、また来てるのね」とって少しずつ住民さんが話しかけてくれるようになったり、そんな些細なことがすごく嬉しくてテラスに行く楽しみが日々増えています。

■ 予定

毎月8日手作り市 and フリマ

実施日：7月8日(金)
時間：10:00~15:00
場所：男山中央センター商店街
内容：ものづくりをする人、手作り品が好きな人が地域で交流できる場づくりを目的として手作り市を開催します。

7月より住まいの相談会はテーマ型へ！ 水回りのお悩み解決します！

実施日：7月9日、30日(土)
時間：14:00~17:00
主催：だんだんテラス×京都府建築士会
場所：だんだんテラス
申込：不要
内容：住まいに関しての相談に京都府建築士会の方が専門家の目線でアドバイスをします。テーマ以外の相談も応じます。

だんだん朝市

実施日：毎週火・木・日曜日
時間：10:00~完売まで

だんだん Dang Dang BAR

実施日：毎月第2、第4金曜日
時間：18:00~21:00

ラジオ体操

実施日：毎日
時間：10:00~

ハガキ絵教室

実施日：毎月第2、第4月曜日
時間：10:30~11:30
参加費：600円

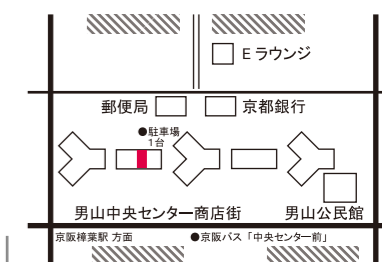
のら猫不妊手術相談会

主催：八幡地域ねこを考える会
実施日：毎月第3木曜日
時間：13:00~16:00

■ 求人

だんだんテラスの利用者募集

だんだんテラスのスペースを利用される方を募集しています！
料金：100円/時間
設備：PC、コピー機、ホワイトボード、プロジェクター、電気ポット等利用可



だんだんテラス

住所：京都府八幡市男山八望 3-1 B47-104
男山中央センター商店街
アクセス：京阪バス「中央センター前」下車
Eメール：dandan.terrace@gmail.com

だんだん通信 7月号

発行日：2016年7月1日
発行元：だんだんテラスの会
編集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト
奥野 智士 / 関西大学大学院
中居 節子 / 住民記者
磯島 由明 / 住民カメラマン

セルフリノベーションとは？

セルフリノベーションとは、「居住者の自己負担による住戸改修」を意味しています。UR 男山団地では、3つの制度を活用することで、賃貸住宅でも退去時の「現状回復義務」が免除される改修を行うことができます。

新規入居者を対象とした「DIY住宅」は、建物の構造部分（躯体）以外の部分は原則として改修可能です。また、計画と施工期間のために契約開始から3ヶ月家賃が無料となる特典もついています。「Petit DIY住宅」は、壁紙や床面の変更など、初心者でも楽しくできる改修が実現できます。

新規の居住者だけでなく、現在お住まいの方も「模様替え申請」を行うと、現状回復義務が免除となる改修を行うことができます。関西のUR団地の中で、3つの制度を全てを活用できる団地は数が少なく、「自分好みに改修したい」「もっと使いやすい設備に変えたい」という方はぴったりの団地と言えます。

男山団地 C 地区 リノベーション特区へ!?

「自分たちの住まいを自分たちでよくする」を合言葉に、これまでモデルルームの開設やDIY (Do it yourself) での改修ワークショップ、建築士会による住まいの相談会に取組んできました。UR 都市機構でも、男山団地 C 地区全体を「セルフリノベーション特区」にすることを検討中のように、居住者による改修を支援する様々な取組みが、今秋より始まっていきそうです。



Check1

リノベーションモニター募集予定 改修費用の1/3をURが補助!

「住まいの相談会」で、改修に関するご相談を頂いた方を対象とし、リノベーションモニター（1名）を募集します。モニターは改修費の1/3(上限30万円)までをURが補助します！詳細は本紙8月号にて！

Check2

「こんな住まいに変えてみたい」提案コンテストを企画中!

実際には改修できないかもしれない...でも!」そんな方を対象にリノベーション提案コンテストを実施します! UR・分譲団地・戸建て住宅問いません! 子どもも大人もアイデアを持ち寄ってみよう! 応募者には10/15 イベントにて豪華賞品も! 応募方法などの詳細は本紙8月号にて!

Check3

住みたい住み続けたい人大集合 10/15(土)イベント開催決定!

リノベーション提案コンテストの発表会やリノベーションモデルルームを巡るスタンプラリー、子どもたちを対象とした「竹ドームづくり」等様々なイベントを現在企画中! 10/15(土)は男山に住みたい住み続けたい人が集まる楽しい1日になること間違いなし!



毎月8日は手作り市&フリマ

「手作り好きな人が集まる場」を目的に毎月8日男山団地中央センター商店街にて、手づくり市&おかつけマーケット(フリーマーケット)を開催しています! 「モノとヒトとの偶然的出会い」は、顔が見えるマーケットの醍醐味! 随時出展者も募集しています!



新聞でコサージュづくり / 講師: やましたゆみこさん / 参加費: 無料 / 出展者の方々に協力頂き、「手作り」を通した仲間づくりのワークショップを企画しています!



男山 新住民のつづやき

「男山やってみよう会議」のチームでの話し合いの場で、「京都市にあって男山にないものは何だろうか」と聞かれ、私は「コジャレたところがない」という感想をのべました。下の写真は、くすのき公園から竹園商店街を見た写真です。それにこんなのがあったらいいなというものを描き加えてみました。

お母さんが子ども達を遊ばせている公園の脇に、疲れたらちよっと腰を下ろしておしゃべりするところや、シャレたパン屋さんなどがあって、お昼は簡単に子どもとパン食なんて楽しくていいですね。そして高齢者の方は、宅配ランチを持ち寄り、ここで仲間と食べる。大人も子どももくつろげる気持ちのいい空間、こんな場所が欲しいですね。歩いて通える距離にある小さなお店はとても便利ですが、それに加えて「気軽に集まれる場

所」が2、3あれば、子育て中のお母さんは、小さな子どもをおひさまテラスに預かって貰って、いろいろな活動ができます。健康的な料理を提供してくれるレストランや、本格的な日本料理を手頃な価格で頂けるお店があれば、男山以外にも訪問者がありそうです。丘の上のコジャレた空間は、若い世代を呼びこむ魔法の力となること請け合いです。このスペースの活かし方を今後、地域の住民で話し合うのも良いかもしれませんね。

